

月曜日

20

きょうのみことば

詩 1:1-6

さいわいなことよ。悪者の
はかりごとに歩まず、
罪人の道に立たず、
あざける者の座に
着かなかつた、その人。
まことに、その人は
主のおしえを喜びとし、
昼も夜もおしえを
口ずさむ。(1-2)

もくそう みことば黙想はなんですか

すてきな自転車^{じてんしゃ}をプレゼントでもらったのに、乗り方を知らないなら、どれほどくやしいでしょうか。同じように、神様があたえられたプレゼントの使い方を知らないならば、どれくらいざんねんでしょう。神様は、レムナントに黙想^{もくそう}という最高^{さいこう}のプレゼントをくださいました。

1. このように黙想^{もくそう}をはじめましょう

わたし^{わたし}の心を全部^{ぜんぶ}、神様のみことばに一度にそそぐのが、黙想^{もくそう}です。礼拝の時に受けた神様のみことばを思い出しながら、深く考えてみましょう。私に起きるどんな小さいことでも、いつも神様のみことばとよくつなげてみましょう。まちががなく、聖霊^{せいれい}さまが働かれる確かな答えを受けるようになるでしょう。

2. 黙想^{もくそう}をつづけましょう

みことばの中で福音^{えんぷん}の内容^{ないよう}をこまかく黙想^{もくそう}してみましょう。イエス様が、悪魔^{あくま}のしわざを打ちこわされたこと、私^{わたし}たちを罪^{つみ}から解放^{かいほう}されたこと、神様に会う道を開いてくださったことなどをよく整理^{せいり}してみましょう。そうすれば、サタンのだましに勝^{かち}って、御使^{ごし}いが神様のお手伝い^{てつだい}をする答えも味わうようになります。

3. 「今日^{けふ}」黙想^{もくそう}に成功^{せいこう}すれば「未来^{みらい}」が明るくなります

今日は神様がレムナントにくださった祝福^{しゅくふく}の日です。今日が集まって未来^{みらい}の大きい成功^{せいこう}をなしとげます。今日、かならず祈^{いのり}り、勉強^{べんきょう}、読書^{どくしょ}、伝道^{でんどう}、専門性^{せんもんせい}を準備^{じゆんび}しなければなりません。神様は黙想^{もくそう}と今日を味わうレムナントに、祝福^{しゅくふく}された未来^{みらい}を準備^{じゆんび}しておかれました。

いつもみことばを黙想^{もくそう}して「今日^{けふ}」をたいせつに味わうように祝福^{しゅくふく}して下さって、感謝^{かんしゃ}します。毎日^{まいにち}、黙想^{もくそう}して、「今日^{けふ}」に挑戦^{ちようせん}できるように、私に力をあたえてください。最高^{さいこう}の祝福^{しゅくふく}をくださるイエス・キリストのお名前^{いの}によってお祈^{いのり}りします。アーメン

✪ 定刻^{ていこく}祈^{いのり}りの点検^{てんけん}: 昼 12 時 教会^{きうかい}のために祈^{いのり}りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈^{いのり}りましょう



かくしえ さがし

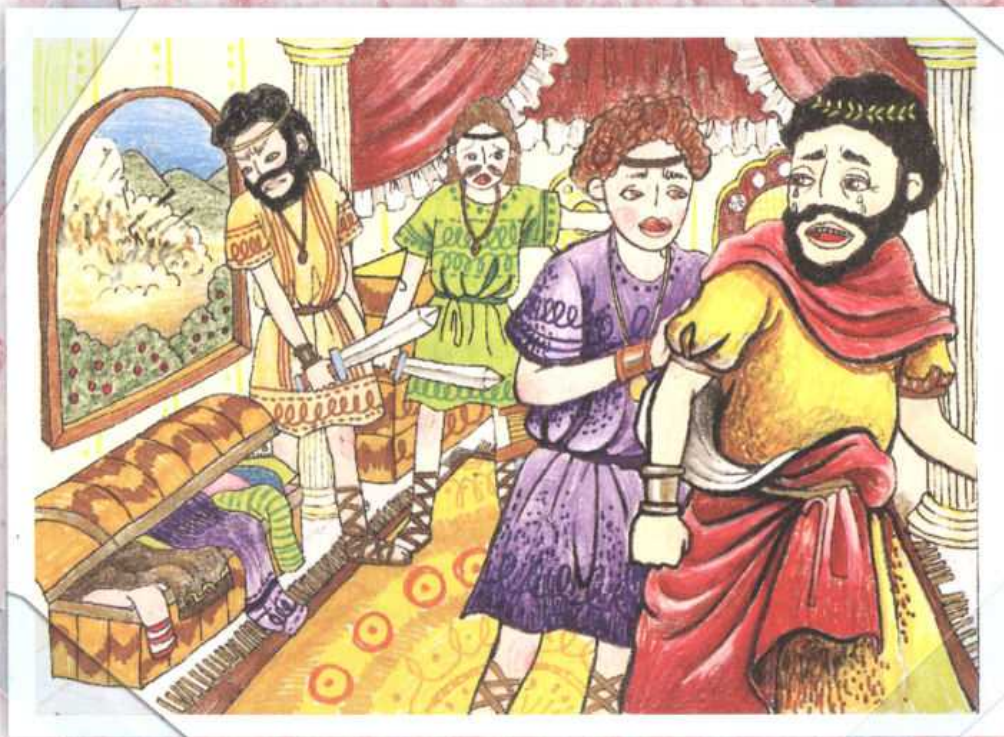
むすこ

おうざ お

ダビデの三番目の息子アブシャロムが、父のダビデを王座から追い出そうとしました。

に おうきゅう
ダビデは、アブシャロムから逃げて、王宮をすててにげました

絵の中にかくれている絵を7つさがしてね



かくれて
いるもの

みどり は さんかくしようぎ やまきゅう ようふく
緑の葉、ツエ、三角定規、野球のボール、ほうき、洋服かけ
かんこくご
韓国語の口の字

火曜日

21

きょうのみことば

テモテ 2:1

そこで、わが子よ。
キリスト・イエスにある
恵みによって強く
なりなさい。

わたし 私は、福音エリート

韓国のことわざの中に「空の車がうるさい」というのがあります。よく知らないのに知っているふりをして騒ぐということです。レムナントは、空の車ではありません。片手に福音を、もう片手に専門性をにぎって、世の中に光を照らす福音エリートです。

1. 福音エリートの内容を準備しましょう

福音を持ったエリートは、勉強と技能に専門性があります。全世界の重要な文化と言語を学びながら、世界化をのがしません。地域社会と国のための奉仕も当然にします。全世界を遍いながら、すべてのレムナントの土台になる世界の文化をリードするすてきなレムナントとして準備しましょう。

2. 福音エリートらしい生活を送りましょう

エリートは、もっとはやく、もっと広く、もっと深く、もっと高い余裕を持って生きています。しかし、福音を持ったレムナントは、そのレベルにとどまってはいません。人に対する配慮を知っていて、また自分の分野で10パーセントの中に、1パーセントの中に、唯一性の中に入って、他の人までその奥義を味わうように助けるのです。

3. 福音エリートは霊的な部分を捨らなければなりません

レムナントがもっとも重要に学ばなければならないことは何でしょうか。祈ること、みことばについて行くこと、伝道することです。レムナントは、のちに教会の重職者になるために、教会を理解して、宣教の祝福まで具体的に味わわなければなりません。

私を福音のエリートとして立ててくださって、感謝します。RUTCで、福音エリートの内容と生き方と霊的な部分を体験できるように助けてください。かならず答えてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTCのために祈りましょう



神様にささげる さんび 賛美



ダビデは、神様に自分の最高さいこうのタラントである賛美さんびを作って歌うたいました。 サムエル 22 章しやうを読んで、レムナントのみんなも、神様にすてきな賛美さんびの詩しをいちど、書いてみよう。



水曜日

22

きょうのみことば

ヨハネ 15:16

福音の中にある

かてい しゅくふく

家庭の祝福を味わいましょう

約20年後にレムナントも、お父さんお母さんになっているでしょう。今日から、家庭でお父さん、お母さんがどのようなことをしているのか、今から学んでおきましょう。そうすれば、あとから、よいお父さん、お母さんになることができるでしょう。

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って美を結び、そのあなたがたの美が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

1. 神様があたえてくださる家庭

良い家庭、悪い家庭を離れて、神様がレムナントの家庭をたててくださいました。そして、多くの計画を持っておられます。祈りながら、お父さん、お母さんの立場で考えてみましょう。そのように見れば、多くの祈りの課題と一生のメッセージを握るようになります。

2. 救いの祝福の中で私たちの家庭をよばれました

小さな葛藤と問題はあるでしょう。ヨセフやサムエルのようなレムナントの家庭にも困難がありました。しかし、彼らはがっかりせず、福音の目で信仰を持って家庭を見ました。そして、家庭の問題を真の祈りと真の伝道の機会にして、幸せな未来を準備しました。

3. 私たちの家庭に向かった神様の計画は何でしょうか

神様が家庭を立ててくださいます。特別にレムナントに家庭に向かった神様の驚くべき計画を分かるようにされました。家族に、神様がいつもともにおられるインマヌエルの奥義を伝えてみてください。問題が来ても軽く越える土台になって、私たちの家族全体が神様の前に立てるように私が先に先に立ちましょう。

祝福された貴重な家庭で育ち、また、育つように祝福して下さって感謝します。私のお父さん、お母さんに私の力をあたえて、私たちの家庭に隠されている神様の計画を発見することができるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



イエス様がおっしゃられた神殿とは、ご自分のからだのことでした。そして、3日でまた建てるといふことは、ご自身が死者の中から3日後に復活するということをおっしゃったのでした。しかし、人々は分かりませんでした。そして、弟子たちも、その時は分からなかったのです。



レムナントのみなさん、

私たちすべてがイエス様のように
教会を築すようになりましょう。

そして、教会と教師先生と、
副教養者の先生たち、そして、
副教養者のために献身的に
教会のために献身的に
ために祈りする時間を
持ちましょう。

しんでん

神殿をきよめられた イエス様



ユダヤ人の祭りである過越の祭りが近づいてきて、イエス様はエルサレムに行かれました。ところで、聖なる神様の神殿の庭で、考えることもできないことが行われていました。異邦人の庭だと呼ばれるところで、人々が犠牲のいけにえとして使われる動物である牛、羊、猪を売っていたのです。また、お金を変える人もいました。

イエス様は、ひもでムナを作って、羊と牛やすべての動物を神殿の扉から追い出されました。また、お金を煮える人々の台をひっくり返して彼らのお金を散らされました。

「これらをここから片づけなさい！ わたしの父の家を市場にしてはならない！
イエス様が鳩を売る人々におっしゃいました。」

イエス様のそのような姿を見た弟子たちは、聖書に書かれている「あなたの家と思う熱心が、わたしを食い尽くす」
というみことばを思い出しました。



2



イエス様の行動に怒ったユダヤ人がイエス様に話しました。

「あなたは、なんの権利があるので、このようにするのですか。」

証明する、なにかのしるしがあるのですか」

イエス様が彼らにおっしゃいました。

「この神殿を壊してみなさい。そうすれば、わたしが3日でまた建てます」
するとユダヤ人が話しました。

「いや、このエルサレム神殿をみな作るのに46年もかかったのに、あなたが3日でまた建てるということですか」

3

木曜日

23

じこくひょう 神様の時刻表を知る

お父さん、お母さんになりましょう

歴史上、世界最高のお金持ち、ロックフェラーは 24 個の大学と、4,928 個の教会を立てて、社会に奉仕しました。どのように、そのような大金持ちになることができたのでしょうか。それは、神様、聖書、教会、十分の一、礼拝時間の大切さを聖書的に教えた、ロックフェラーのお母さんの教えがあったからです。

1 よい夫、よい妻になりましょう

神様がアダムとエバに、おたがいに助ける配偶者になりなさいとおっしゃいました。夫は神様の計画と家系の背景、妻の性格をよく理解して愛さなければなりません。妻も夫によく従いながら長所は助けて、短所が見えれば、かばいながら手助けしなければなりません。

2 . 子どもをどのように育てなければならないのでしょうか

赤ん坊は、母親のお腹の中で完成されます。それで、この時、祈りと賛美をたくさんしなければなりません(胎児期)。1~2歳の時には、まだことばもよくはなせず、よく歩けないので、おむつをかえて、体を洗ってあげながら、親しさを深めなければなりません(嬰兒期)。3~4歳の時には、ことばも少し話すことができ、歩くこともできるようになります。この時、礼拝と祈り、そして、本を読みながら対話しなければなりません(幼児期)。5~7歳の時には、幼稚園に通いながら、両親と先生、友だちに会って、多くのことを経験するように手助けしなければなりません(幼稚園期)。小学生になれば、自分で祈って勉強しながら、エリートの規律をそろえられるように手助けしなければなりません。中・高等学校からは、専門性と具体性を準備させてあげなければなりません。大学・青年の時期には、社会性と自分だけができる唯一性をそろえたいすばらしいおとなになるように、モデル的な親の姿を見せなければなりません。

きょうのみことば

使徒 16:31

ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と言った。



神様に仕えるように、親に仕えるすてきなレムナントにならせてください。また、聖霊様の導きを受けて育て、りっぱな親になれるように、導いて祝福してください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✽ 定刻祈りの点検 : 昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



金曜日

24

きょうのみことば

出 15:1-18

わたしがエジプトに対して力を働かせたあのことを、また、わたしが彼らの中で行なったしるしを、あなたが息子や孫に語り聞かせるためであり、わたしが主であることを、あなたがたが知るためである。(2)

モーセの賛美と感謝

アメリカの人々がアメリカの大統領より尊敬している人物として、クロスビーを選びました。他の国でもいちばん好まれている讃美歌に、クロスビーの賛美が多くあります。賛美は、年月が流れても、多くの人々に神様の恵みを体験させる大きな影響力があります。

1. 罪とのろいから救われたことに対する感謝と賛美

救いの祝福を記念して、モーセが作った賛美を民が歌にして歌いました。罪とのろいから解放された感謝だけをもって、レムナントは、よろこんで賛美することができます。このように行く所ごとに救いの恵みをずっと味わうことだけで、驚くべき祝福と数多くの答えを受けることができます。

2. 神様の永遠であることに対する賛美と祈り

賛美はメロディがある祈りだと言われます。モーセの賛美には、神様が永遠であることと、正しい祈りの内容と、契約的な情念がすべて入っています。レムナントである私たちが信仰で賛美する時も、その賛美の内容と祈りの課題が、すべて答えられます。

3. 神様の導きを信じる未来に関する祈りと感謝

私たちが賛美する時、私たちの心の中に真の感謝があふれ出ます。苦しい環境の中でも、賛美の奥義を味わえば、真の喜びがあふれ出てきます。クロスビーとモーセのように、賛美の祝福を今日、かならず味わってみましょう。

モーセが賛美で神様に栄光をささげ、子孫に契約を伝えたように、私たちの賛美で、全世界に神様の救いの恵みが臨むことを信じます。賛美を受けるにふさわしいイエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



主は私の旗

アドナイ ニシ

出 17:15 モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、

イスラエルの民は、出エジプトしたあと、レフィディムという地域でアマレクと戦争をするようになりました。ところが、モーセの手が上がっているとイスラエルが勝ち、モーセの手が下りるとアマレクが勝ちました。人々は、大きな石を持ってきて、そのモーセを座らせてアロンとフルがモーセの腕を支えました。戦争で勝利したあと、モーセは、レフィディムに祭壇を築いて、そこを「アドナイ・ニシ」と呼びました。主は「私の旗」で、「私の勝利と希望である」という意味です。すなわち、神様は私の救い、私を導き守る方で、私の勝利の力だという意味です。究極的に、完全な勝利者であるキリストを意味します。

人間は、サタンにだまされて、神様を離れ、サタンの奴隷になってしまいました。このときから、人間は霊的問題につかまってしまい偶像崇拜と運命というわなに陥って、精神問題、肉的問題、家庭と子どもの問題も避けることができなくなってしまいました。このとき、神様が、王であるキリストを送ってくださって、サタンの頭を踏みくだいて、私たちを救ってくださいました。



「アドナイ・ニシ」を深く黙想してみましょ。どんな意味があるでしょうか。もしかして、霊的に苦しんでいませんか。

イエス・キリストのお名前を祈って勝利する一日にしましょ。

わたし
つみびと **私**が**なぜ**
罪人なのですか？

のどかな日曜の午後、センくんについて、教会に来たジソンくんは、クラス別の学びの時間に、手をパッとあげて質問をした。

「先生、アダムとエバが罪を犯したのに、なぜ私が罪人なんですか？」

先生は、ジソンくんの質問に、一瞬、びっくりした。でも、すぐにほほえみながら話した。

「ジソンくん、この前の3月にWBC(世界ベースボール大会)で、韓国の野球代表チームと日本野球代表チームが決勝に出たでしょう」

「はい」

ジソンくんは、元気に答えた。

「それで、だれが勝った？」

「ぼくたちの国の韓国が負けて、日本が優勝しましたよ」

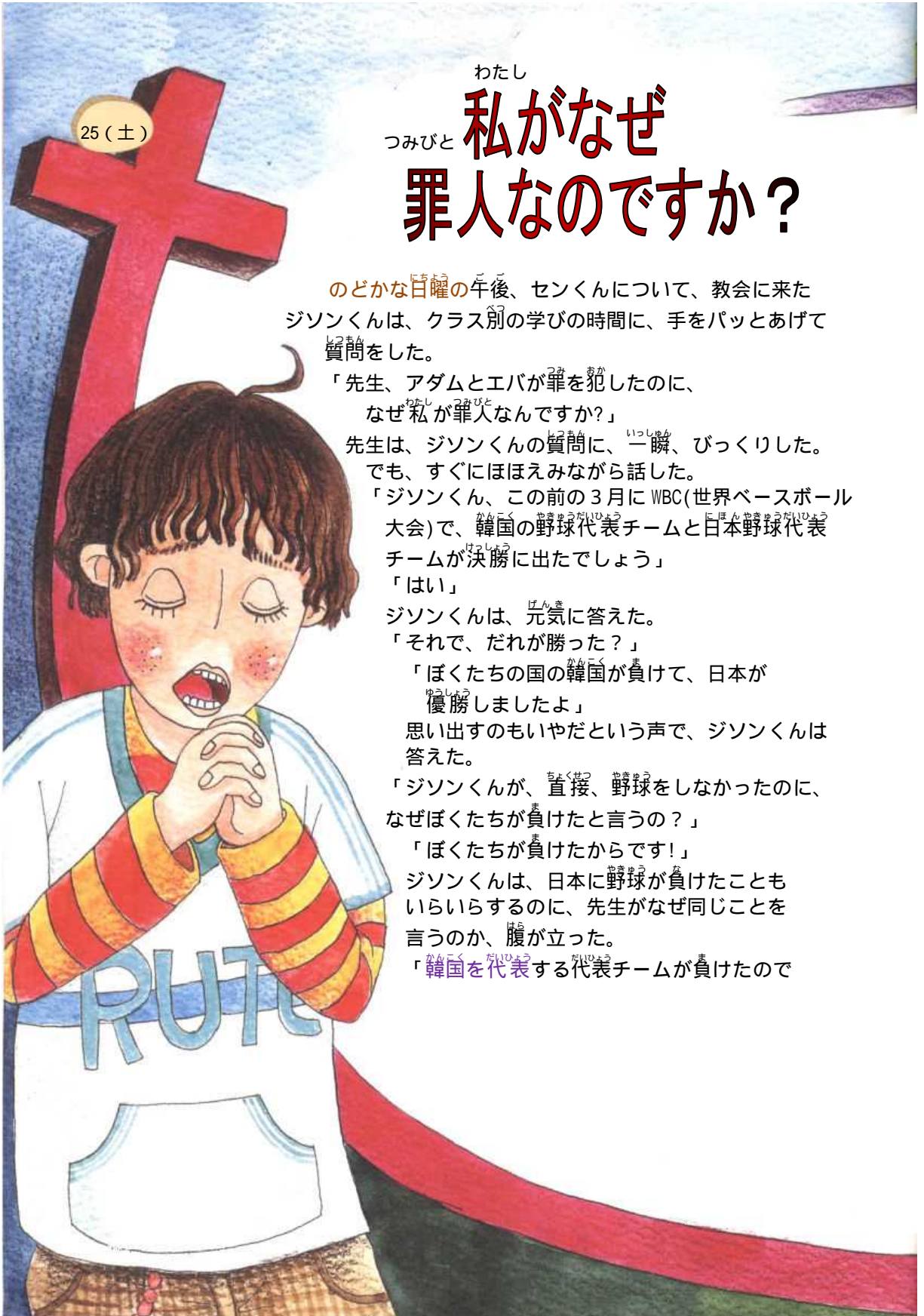
思い出すのもいやだという声で、ジソンくんは答えた。

「ジソンくんが、直接、野球をしなかったのに、なぜぼくたちが負けたと言うの？」

「ぼくたちが負けたからです！」

ジソンくんは、日本に野球が負けたこともいらいらするのに、先生がなぜ同じことを言うのか、腹が立った。

「韓国を代表する代表チームが負けたので





ぼくたちが負けたというように、
人間の代表であるアダムがサタンに
だまされて罪を犯したので、すべての人々が
罪人になったのよ」

「はい？」

「神様が世の中を造られて、人を造られたのですが
その人の名前がアダムです。アダムは、人間の代表で、
言いかえれば、すべての民族の一番親分の先祖だったの。
神様がアダムにすべての祝福をくださったの。しかし、
善悪の知識の木からは、取って食べてはいけないと言われ、
それを食べる時には、本当に必ず死ぬとおっしゃられたの
(創世記2:17)。そのような、ある日・・・」

先生の話はずっと続いた。

ジソンくんは、先生の話聞きながら、自分が知らないうちに、胸が
ドキドキするのを感じた。

その次の週、ジソンは妹を連れて教会に来た、そして、クラス別の
学びの時間にまた手をパッと上げた。

「先生、ぼくの妹のミソンですが。ぼくの話が分からないようです。
なぜ自分が罪人かというので、説明をよくしてやってください」
先生は、じっと自分を見つめるジソンを見ながら、にっこりと
ほほえんだ。そして、少しずつ福音メッセージを
伝え始めた。

ていにくいの てんげん
※定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTC のために祈りましょう